

美術展「工芸」

想いを技に「暮らしに息づく用の美」

10月29日(土)～11月6日(日)

南丹市立文化博物館



公募にもとづいて、陶芸やガラス、染織など9部門にわたる工芸作品が全国から寄せられ、審査により、入賞10点、奨励賞48点、入選46点の作品が選ばれました。

式典では、最優秀賞の文部科学大臣賞に輝いた古家喜義さん(香川県)をはじめ、10人の入賞者を表彰しました。

文化博物館を訪れた方々は、作品に込められた想いや優れた技法、暮らしに息づく工芸の素晴らしさなど工芸文化を堪能されました。



◆連携・協働事業◆

国民文化祭は、市民の皆さんをはじめ、市内福祉施設や小・中学校など、さまざまな個人、団体の皆さんの協力の下、開催することができました。

■京都工芸美術作家協会展

10月29日(土)～11月6日(日) 南丹市立文化博物館



京都を舞台に活躍されている工芸美術作家370人が所属する「京都工芸美術作家協会」の結成65周年記念の作品展示会が、国民文化祭に合わせ「南丹市巡回展」として開催されました。



「今日から明日へ」をテーマに行われ、重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品を含む214点が並べられ、訪れた人々を魅了していました。

■京都丹波文化ジョイントプログラム2011

